

一般社団法人 日本家族計画協会  
リプロ・ヘルス推進事業本部  
健康教育推進本部  
協力：公益財団法人予防医学事業中央会  
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館  
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp  
発行人：北村 邦夫 編集人：櫻田 忠宏 henshu@jfpa.or.jp  
毎月1回1日発行 年購読料¥3000+税 1部¥300+税千共

# 家族と健康

健康教育情報紙

- JFPAは6Aの実現を目指します!
- ① Adolescent 思春期保健の推進
  - ② Abortion 人工妊娠中絶の防止
  - ③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる
  - ④ Advocacy 啓発・提言活動
  - ⑤ AIDS STI及びHIV/エイズの予防
  - ⑥ Ageing 高齢社会への対応



健やか親子21

## 平成27年度 健やか親子21全国大会 (母子保健家族計画全国大会)

10月7日(水)～9日(金) 神奈川県民ホール(横浜市)で開催

### 全国大会によせて

一般社団法人日本家族計画協会会長 近 泰男

平成27年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)が、神奈川県民ホールに於き、盛大に全国大会が開かれました。未だかつてない規模の大会であり、皆々が心から喜び、準備を賜りました神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市の関係各位に感謝を表します。

また、このたびは大会において、栄えある表彰子保健・家族計画や「健やか親子21」の推進にご尽力されている方々が神奈川県民ホールに集まり、盛大に全国大会が開かれました。皆々が心から喜び、準備を賜りました神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市の関係各位に感謝を表します。



近会長

わが国は本年、第二次世界大戦の終結から70年を迎えました。終戦後、国民は貧困に苦しみました。戦後、若くは男女の結婚も急増し、「ベビーブーム」と呼ばれる時代が到来しました。しかし、生活が苦しいため子どもが産めない人たちの人工妊娠中絶実施件数も増え、女性に多大な健康被害をもたらす結果となりました。

わが国の家族計画普及運動は、1955年

### 人工妊娠中絶件数18万6千件

報告史上初めて19万件を割る結果となりました。しかし、生涯を通じた女性の健康を支援するリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)をさらに向上させるためにも、啓発活動の手を緩めず、引き続き取り組んでまいります。

### リプロ・ヘルスの推進へ

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(リプロ・ヘルス)という文言は、2000年に母体保護法の一部改正が行われた際、参議院、衆議院の付帯決議において公に明記されることになりました。また、今後閣議決定が予定される「第4次人口・ヘルスの推進を願う

### 主な日程

- 10月7日(水)～9日(金) 神奈川県民ホール
- 10月7日(水) 母子保健関係者研究会、愛育班等組織支援担当者会議
- 10月8日(木) 式典、特別講演「親はか」のススメ、母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会
- 10月9日(金) シンポジウム「切れ目のない妊娠・出産・子育て支援」(基調講演「産前産後ケアから子育て世代包括支援へ」、パネルディスカッション)、家族計画研究会
- 10月9日(金) 12時45分～14時45分(受付・軽食配布12時15分)「今、あらためて子宮頸がん予防について考える」木口マリ、宮城悦子、北村邦夫/参加費無料/問い合わせ・申し込みは本会まで(HPから可)

### 今月のページ

- 健やか親子21全国大会 (母子保健家族計画全国大会) 被表彰者他 2面
- 平成27年度母子保健対策関係予算概算要求他 3面
- 被災地復興支援者セミナー開催 4～5面
- 日本思春期学会総会・学術集会開催 シリーズ遺伝相談⑦他 6面
- 海外情報クリップ他 7面
- 産婦人科医による性の健康教育⑦ 8面



(4～5面) (3面)

### トピック

#### 子宮頸がんワクチン 積極的勧奨再開見送り 厚生労働省

原因不明の疼痛などの報告により、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨は2013年6月以降、行われていない。この問題に関し、厚生労働省は、子宮頸がんワクチンが販売された09年12月から14年11月までに接種した約33.8万人を調査・報告した。これによれば、約33.8万人のうち、副反応の疑いがあったのは2584人(被接種者の0.08%)。追跡調査で経過を把握できたのは1739人で、このうち186人は、いまだ頭痛や倦怠感、関節痛などが残る「未回復」の状態であった。ワクチンと副反応の因果関係を含めた原因不明のため、積極的勧奨の再開は見送られた。また、厚労省は9月18日、定期接種後に健康被害が生じた6人にに対し、医療費などを支給することを決定している。

MSD

かしこく、正しく、自分らしく  
避妊情報サイト  
あなたが選ぶ避妊スタイル

このサイトはOC(低用量経口避妊薬)や避妊についての正しい知識を身につけていただくことを目的としています。  
http://www.hinin-style.jp 避妊スタイル 検索

MSD株式会社 〒102-8567 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア http://www.msd.co.jp/

2015年2月作成 MAV15A0003-0200



# 平成28年度 母子保健対策関係予算概算要求の概要

## 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

(平成27年度予算) 37,078百万円 → (平成28年度概算要求) 38,124百万円

### 1 母子保健医療対策の強化

地域における切れ目のない妊産・出産支援の強化  
15,091百万円  
↓15,713百万円  
【一部推進枠1,076百万円】  
(1)妊産・出産包括支援事業の展開【一部推進枠】  
子育て世代包括支援センター※を核とし、家庭や地域での孤立感の解消を図るために相談支援を行う「産前・産後サポート事業」や、退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等のきめ細かい支援を行う「産後ケア事業」などを地域の実情に応じて実施し、妊産婦等に必要な支援体制の構築を図る。

(2)不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施  
不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる特定不妊治療に要する費用等の助成を行う。  
(3)生涯を通じた女性の健康支援事業の実施  
リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)等を重視しつつ、女性がその健康状態に応じた確に自己管理を行うことができるようにするための健康教育の実施、不妊・不育症及び思

春期、妊娠・出産、更年期、高齢期等各ライフステージに応じた課題に対応するための相談体制を構築することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図る。  
また、HIV・1母子感染予防対策の推進を図る。  
(4)子どもの心の診療ネットワーク事業の実施  
様々な子どもの心の問題、児童虐待や発達障害に対応するため、都道府県域における拠点病院を中心とし、医療機関や保健福祉機関等と連携した支援体制の構築を図る。

### 2 慢性的な疾病を抱える児童等への支援

17,457百万円  
↓17,668百万円  
(1)小児慢性特定疾病医療費  
長期にわたり療養を必要とし、及びその生命に危険が及ぶおそれがあるものであって、療養のために多額の費用を要する疾病(小児慢性特定疾病)にかかっている児童

等について、健全育成の観点から、患児家庭の医療の負担軽減を図るため、医療費の自己負担分の一部を助成する。  
(2)小児慢性特定疾病児童の自立に向けた支援  
幼少期から慢性的な疾病にかかっているため、学校生活での教育や社会性の涵養に遅れが見られ、自立を阻害されている児童等について、地域による支援の充実により自立促進を図る。  
(3)小児慢性特定疾病児童成人移行期医療支援モデル事業  
小児慢性特定疾病児童の成人移行期医療の提供体制の整備を促進する。  
(4)小児慢性特定疾病登録管理データベース運用事業

の成人移行期過程での医療については、患児の成長・発達を踏まえ、また、個々の疾病の状態の変化に合わせた医療が必要であり、この移行期医療の提供体制の整備が重要な課題である。  
このため、小児と成人に対する医療が異なる疾病領域を対象とし、移行期医療を円滑に進めるためのツール等の開発、研修、実証をパッケージ化し、移行期医療の提供モデルを構築し、その提供体制の整備を促進する。  
(5)小児慢性特定疾病指定医療機関指定  
小児慢性特定疾病指定医療機関が認定する専門医を取得している

### 3 未熟児養育医療等

3,703百万円  
↓3,750百万円  
【一部推進枠1,720百万円】  
子どもの健全育成のため、母子の健康を確保する必要がある。未熟児に対する医療の給付等を行う。また、特に長期の療養を必要とする結核児童に対する支援を行う。

また、当該データを研究者や企業等へ提供可能な仕組みを構築することにも、必要な情報をポータルサイトに掲載し、小児慢性特定疾病に関する情報の一元化を図る。  
(6)小児慢性特定疾病指定医療機関指定  
小児慢性特定疾病指定医療機関が認定する専門医を取得している

実施  
小児慢性特定疾病の患児データベースの構築について、医師が直接入力するシステムから集約したデータを精査、集約する。  
また、当該データを研究者や企業等へ提供可能な仕組みを構築することにも、必要な情報をポータルサイトに掲載し、小児慢性特定疾病に関する情報の一元化を図る。  
(6)小児慢性特定疾病指定医療機関指定  
小児慢性特定疾病指定医療機関が認定する専門医を取得している

### 4 研究事業の充実

606百万円  
↓725百万円  
【一部推進枠1,720百万円】  
子どもの健全育成のため、母子の健康を確保する必要がある。未熟児に対する医療の給付等を行う。また、特に長期の療養を必要とする結核児童に対する支援を行う。

また、当該データを研究者や企業等へ提供可能な仕組みを構築することにも、必要な情報をポータルサイトに掲載し、小児慢性特定疾病に関する情報の一元化を図る。  
(6)小児慢性特定疾病指定医療機関指定  
小児慢性特定疾病指定医療機関が認定する専門医を取得している

また、当該データを研究者や企業等へ提供可能な仕組みを構築することにも、必要な情報をポータルサイトに掲載し、小児慢性特定疾病に関する情報の一元化を図る。  
(6)小児慢性特定疾病指定医療機関指定  
小児慢性特定疾病指定医療機関が認定する専門医を取得している

### 5 その他

220百万円  
↓268百万円  
上記施策の他、先天性代謝異常等に罹患している児童に対する特殊ミルク供給事業や母子保健に携わる指導的立場にある者に対する研修などを実施する。

また、当該データを研究者や企業等へ提供可能な仕組みを構築することにも、必要な情報をポータルサイトに掲載し、小児慢性特定疾病に関する情報の一元化を図る。  
(6)小児慢性特定疾病指定医療機関指定  
小児慢性特定疾病指定医療機関が認定する専門医を取得している

また、当該データを研究者や企業等へ提供可能な仕組みを構築することにも、必要な情報をポータルサイトに掲載し、小児慢性特定疾病に関する情報の一元化を図る。  
(6)小児慢性特定疾病指定医療機関指定  
小児慢性特定疾病指定医療機関が認定する専門医を取得している

## 国際家族計画連盟より 2回目の認証を受ける

本会



認証書を受け取る石井理事(写真中央)

IPPF地域理事会  
インドネシアのジャカルタで開催された地域理事会において、本会はIPPFから2回目の認証を受けました。国際家族計画連盟(IPPF)の正式なメンバーとしての資格はこの認証を受けることで得られます。5年に一度という厳しい基準をクリアした組織のみがIPPFの正式加盟団体となるのです。  
ロンドンから参加したIPPFの事務局長、そして東・東南アジア・オセアニア地域理事会の議長を含む関係者からの祝福を受けて、大きな認証

書を受け取りました。さらなる活動の充実を世界中が総力を挙げて推進してきた、貧困削減を基本目的としたミレニアム開発目標が、今年で達成期限を迎えます。そして今年秋には国連において、次の「持続可能な開発目標(2016-2030)」が承認される予定です。  
IPPFもこの大きな変革の時期に「新戦略枠組(2016-2022)」を策定しました。2016年からの新しい地球規模の開発目標「一人ひとりの命を守る」に向けての船出の準備で

す。地域理事会の開催に当たり、IPPFのテウオドロス・メレッセ事務局長は、「われわれは、単に命を救うためにあるのではない。命の尊厳を守るためにここにいます。この地域には自らが逮捕されるという困難を乗り越え、IPPFの創設に尽力したメンバー団体がある。われわれはこの創設者たちが自ら取ったリスクを忘れてはならない」とあいさつしています。  
IPPFの今後の挑戦として、特にアジア・太平洋地域の自然災害にお

### 妊娠・出産包括支援事業の拡充について

平成28年度要求額: 24億円【うち推進枠: 11億円】(平成27年度予算: 17億円)

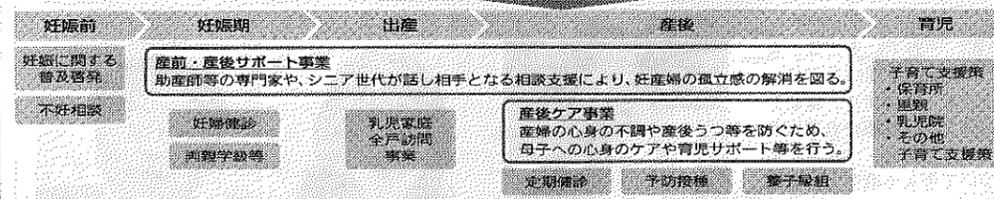
#### 要求要旨

妊産期から子育て期にわたるまでの総合的な相談支援を提供するワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター)の全国展開に向けた拡充に伴い、「産前・産後サポート事業」や「産後ケア事業」についても、妊産婦等を支えるための総合的な支援体制の構築を図るため一体的に拡充する必要があります。※子育て世代包括支援センターについては、内閣府予算において要求  
また、本取組は、妊産婦の孤立感や不安感の解消を図ることを目的としており、妊産期からの切れ目のない支援による児童虐待の発生予防に資するものである。

#### 事業概要

- 妊産期から子育て期にわたるまでの総合的な相談支援の実施
- 保健師等の専門職が全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを策定

【妊産期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援の実施】



#### 要求内容

要求内容	実施市町村数の増	【27年度予算】	【28年度要求】
①産前・産後サポート事業		80市町村	160市町村
②産後ケア事業		80市町村	160市町村
③妊娠・出産包括支援緊急整備事業		52市町村	60市町村
④妊娠・出産包括支援推進事業		47都道府県	47都道府県



# 被災地支援を

## 高村氏「誰かをエンパワーメントしようとするならば、まず自分自身がエンパワーメントされていなければならぬ」

### 「つめ、忘れたい」

（つめ、自己肯定感や自己効力感を高めていられない。こうした新しい発見は、自己の認識を改めさせる可能性を宿している。

「日本人は寝ることに苦手。寝ることは恥ずかしい。それを受け取る方もっと恥ずかしい。だけど、素敵だと褒められているのは、あなた自身。そこには、自分が気が付かなかった自分があるかもしれない。自分が努力してこうなりたいと思っていた自分がいるかもしれない。恥ずかしくても、褒められたあなた自身を否定しないで、うれしく受け止めてほしい。首は横に振らず、縦に」と、高村氏も笑顔で語りかけた。

### 支援者へのサポート必要

震災から4年半がたち、専門職が置かれていく状況は、徐々にではあるが、落ち着いてきているという。また昨年、行政の専門職と、看護協会の専門職の役割を確認し、整理する機会が設けられ、思い違いや不満なども解消されつつあるという。しかし、被災地

や被災地住民への支援は、まだまだ認められる状況にはない。看護協会の支援者である専門職は、ほぼ福島県民で、自身も被災している。中には、県外から単身やっけてきて、支援地域に住み、支援活動を行っている人もいる。実際、本研修会には、「テレビ

で被災地の支援や復興が進んでいないことを知り、自分にはできることがあれば」と静岡県から来た看護士もいた。こうした支援者へのサポートやケアは、今後も求められるところだろう。

「支援者へのエンパワメントは、海外ではあるが、日本では初めてかもしれない。この研修会には、私たちがどうもいっ勉強になった」と高村氏は最後に語った。

研修会を終えて、受講生からはさまざまな感想が寄せられた。「自分の気持ちがすっきりした。心の奥にしまっていた感情がポロリと自然体でいられる自分を見つけた」

「支えてくれる仲間ができて、心が温かくなってきた」

「自分が仕事にしっかりと取り組んでいるか不安を抱えていた。研修会に参加し、心の重荷を取ることができた」

「自分は駄目だという気持ちでいっぱいだった。こうした支援者への支援に参加して、明るい気持ちで行う意図だ」

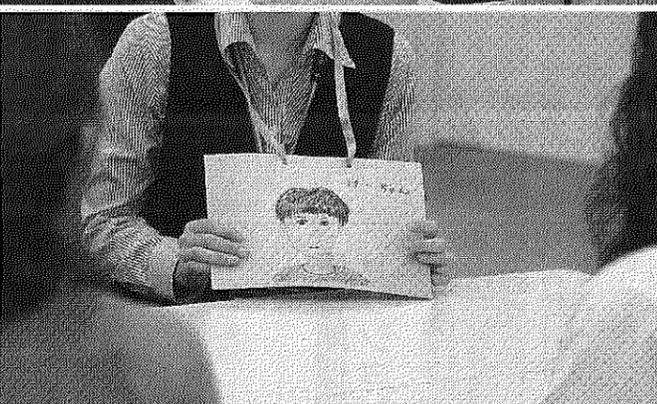
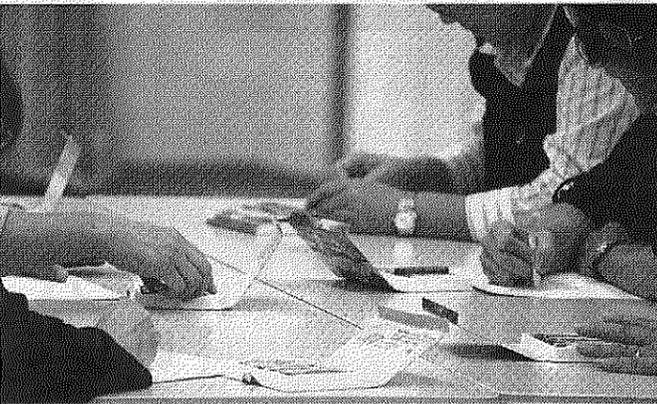
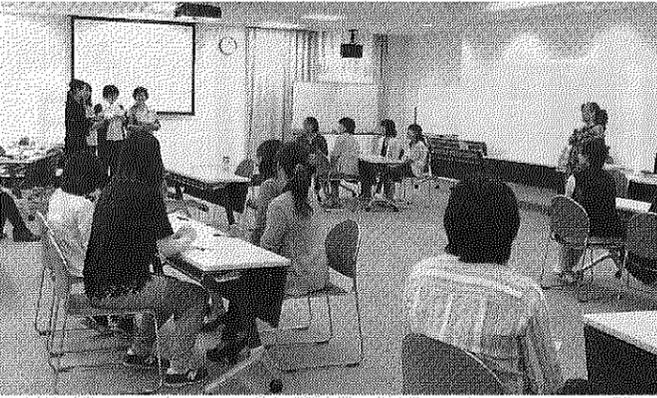
日本家族計画協会では、今後も福島県をはじめ、岩手県、宮城県でも

「アン」となる。ピア・ネームはもじっても構わない。受講生からは、母親や友人などの近親者、看護職らしいナイチンゲール、俳優・渥美清が演じた真さんなど、さまざまな「憧れの人」が出た。最近はどうも忙しく、と

言葉で、なぜその人物に憧れているのかを説明する。そして最後に、その憧れの人の名前を自分の愛称(ピア・ネーム)とリーで、ピア・ネームは

憧れの人を説明する。そして最後に、その憧れの人の名前を自分の愛称(ピア・ネーム)とリーで、ピア・ネームは

憧れの人を説明する。そして最後に、その憧れの人の名前を自分の愛称(ピア・ネーム)とリーで、ピア・ネームは



(写真上から)自分たちの似ているところを見つけ発表し合った/クレヨンを手に、自分の夢や憧れの人を描く/自分の「憧れの人」を発表(4段目も同じ)/夢を描き、お互いに語り合った

## 高村寿子先生の本

お問い合わせは TEL03-3269-4727 日本家族計画協会

全面的に主體的な生き方を支える リニューアル! ピア・カウンセリング教材

## セクシュアリティがわかる本

2006年に刊行されて以来、若者に寄り添い、若者の疑問に答えてきた「セクシュアリティがわかる本」が、装いも新たに生まれ変わりました!

思春期を迎えた若者が、自らが生まれ持った性を受けとめ、人生設計をし、生き生きと実現していけるように、そのた

めの正しい知識・情報を得られるように、長年ピア・カウンセリングに携わってきた経験豊富な著者陣が親しみやすく分かりやすい言葉で語りかけていきます。ぜひ、ご家庭・学校での性教育教材としてお役立てください。

また、若者の主體的な生き方を支える

ピア・カウンセラーの方々にも、ぜひともお読みいただきたい一冊です。

編著者: 高村寿子 (自治医科大学名誉教授)  
仕様: B5判・64ページ・オールカラー  
価格: 本体700円 (税別) (15部以上のご注文で500円)



主體的な生き方を支える ピア・カウンセリング教材 セクシュアリティがわかる本

編著者: 高村医科大学名誉教授 高村寿子



# 海外情報クリップ

◆思春期の性行動と避妊  
米国保健福祉省(NCHS)が今年発表した思春期男女の性行動と避妊に関する調査「2002年」によれば、17歳までに初めての性交渉を経験した割合が、25年前に比べて女子で14%、男子で22%減少したと報告されました。さらに詳しく見ると、男子の中の割合が1988年で60%、95年で55%、2002年で46%、06～10年では最も低く42%、そして直近のデータ(11～13年)では47%となっています。女子では同じ調査年でそれぞれ、51%、49%、46%、43%、44%です。

## 米国の若者はセックスレス傾向になっているのか

—米国保健福祉省(NCHS)—

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

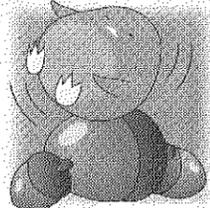
## 過体重・肥満の思春期女性の避妊

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。



子宮内腫瘍など病気が原因の不妊もありますが、不妊については、他の医療に比べて、治療するべきかを本人が決めるところが多いように思われます。そして仮に治療を決定しても、当事者が期待する妊娠・出産につながるかは限らず、いつまで続くのか、いつやめるのかの葛藤が繰り返されることになり得ます。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。



◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

## 妊娠経験のない女性へのIUDの使用

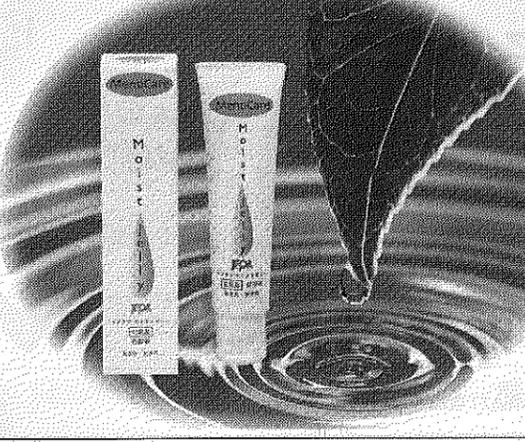
◆子宮の大きさとIUD  
子宮内避妊具(IUD)はこれまで、お産を経験した女性の避妊法とされてきたが、妊娠の経験がない女性の避妊法としては有効・安全なものでしょうか。ヘルシンキ大学の研究グループは、妊娠経験のない女性の子宮内避妊具の使用を比較する研究を行いました。結果、IUDやLNG-IUSの使用率は02年の1・5%から、11～13年の7・2%に大幅に上昇しました。この背景には、反復中絶や10代の妊娠・出産を減らすための政策があります。服薬遵守あるいはパートナーの避妊サポートにシフトする傾向が、注目を集めています。

◆子宮の大きさとIUD  
子宮内避妊具(IUD)はこれまで、お産を経験した女性の避妊法とされてきたが、妊娠の経験がない女性の避妊法としては有効・安全なものでしょうか。ヘルシンキ大学の研究グループは、妊娠経験のない女性の子宮内避妊具の使用を比較する研究を行いました。結果、IUDやLNG-IUSの使用率は02年の1・5%から、11～13年の7・2%に大幅に上昇しました。この背景には、反復中絶や10代の妊娠・出産を減らすための政策があります。服薬遵守あるいはパートナーの避妊サポートにシフトする傾向が、注目を集めています。

一人で悩んでいませんか。  
更年期以降には、女性ホルモン(エストロゲン)の分泌量低下に伴い、デリケートゾーン(陰周辺部)の乾燥による違和感・不快感に悩んでいる女性は少なくありません。そのような方々のために開発されたこの専用保湿ゼリーは、日常的ケアで爽やかライフをお届けします。

陰周辺の乾燥による“つらい不快感”のケアに！  
**JFOA メノケア® モイストゼリー** (保湿液)

・のびがよく、塗りやすいゼリータイプです。  
・高い保湿力を備え、潤いが持続します。



化粧品

- 無着色・無香料
- 殺菌処理済
- パラベン無添加

■50g入 1,620円(本体価格1,500円)

発売元  
JFOA 一般社団法人 日本家族計画協会  
TEL 03-3269-4727

製造販売元  
POLA PHARMA 株式会社 ポーラファルマ  
TEL 0120-12-2721(通話料無料)

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

◆避妊実行率は低い  
外国ではBMIが30以上の人を肥満、25～30未満は過体重といわれます。この調査から、5人中4人は何らかの避妊法を実行していることが分かった。さらに、「15歳未満で性交渉を経験する割合は、男子で18%、女子で13%だが、その後急激に上昇し、17歳までには男女とも40%を超え、19歳では全体の3分の2は経験している」と説明しました。

